

コロナから暮らし・営業・医療を守る

藤元 さとみ

市議会議員
(八幡東区)



困った人にやさしい政治を



日本共産党

藤元さとみ無料法律・生活相談所
八幡東区中央1-3-7 TEL: 681-1885

ふじもと聡美・プロフィール

■1969年生まれ。北九州大学外国語学部卒 ■北九州第一法律事務所、小倉南法律事務所で事務局長として24年間勤務 ■2017年北九州市議会議員初当選。(1期目) ■現在/新日本婦人の会八幡東支部副支部長、原発なくそう!九州玄海訴訟八幡東区世話人 ■家族: 夫、娘

コロナ感染症の広がりや医療崩壊の危機に直面しているにもかかわらず、菅自公政権は自己責任を押し付ける「新自由主義」で乗り切ろうとしています。いま政治がやることは、3500億円もかけて必要もない下関北九州道路をつくることではなくコロナから市民を守ることです。藤元さとみはその先頭に立ってがんばります。

市民との共同で政治を動かす

日本共産党



医療費助成を 高校卒業までに拡充

さらに

市民の新しい北九州へ

学校給食無償化
子ども医療費助成の
自己負担なくす

返済不要の奨学金で
若者を応援

賃上げと家計応援で
人口減から人口増へ

タクシーにもつかえる
高齢者福祉乗車券を

2021年4月から中学生まで、2022年1月からは高校生までに医療費助成が広がります。日本共産党は1970年代から市民のみなさんとの共同で、「子ども医療費の無料化」の拡充をくり返し求めてきました。

PCR検査センター設置 高齢者施設等の検査実現

様々な実態調査をもとに、市長に7回173項目の申し入れ。PCR検査センターの開設や高齢者・障がい者施設の職員・入所者の無料の検査実施につながりました。



申し入れを行う
日本共産党市議団

持続化給付金や国保・介護の減免など、つかえる制度の申請の援助を行っています。



市街化調整区域の 見直し計画は白紙に戻せ!

東区の声届けます

市は南側斜面地を中心に「市街化調整区域」に指定、インフラ整備にお金をかけない目的で無居住化を進めようとしています。移転も解体も費用は「自己責任」。藤元さとみは、一方的な計画は白紙に戻すよう求めます。

ジェンダー平等社会めざす日本共産党



2021年1月号外 日本共産党福岡県委員会の見解を紹介します。発行：福岡民報社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-13-12
ご意見ご要望は日本共産党福岡県委員会へ TEL: 092-411-5131 大場ビル3階 (1964年12月9日第三種郵便物認可)